

第28回全国中学校選抜卓球大会長野県予選会 要項

- 1 日 時 令和8年12月26日(土)
開場8:00 開会式8:50 試合開始9:10 試合終了17:00予定
- 2 会 場 長野県立武道館(佐久市猿久保165-1 Tel 0267-78-5370)
- 3 主 催 長野県卓球連盟
- 4 主 管 長野県卓球連盟ジュニアクラブ委員会
- 5 競技種目 ①男子団体 ②女子団体
- 6 試合方法

＜全国中学校卓球大会方式＞

- (イ) 選手6～8名、監督1名を登録する。又、アドバイザー1名を別途登録することができる。
- (ロ) 4シングルス1ダブルスの6人制で行う。単複に重複して出場することは出来ない。
1(S) 2(S) 3(W) 4(S) 5(S)
- ※団体戦は予選リーグ→決勝トーナメント方式で行う。ただし参加チーム数により変更する場合もある。

7 参加資格と制限

- ①参加者は2026年度(公財)日本卓球協会登録者であること。出場する中学校・地域クラブ・拠点校において選手は選手登録、監督・アドバイザーは役職者登録をしていること。ただし、高校生以下の生徒が監督・アドバイザーになることは認めない。大会時、監督・アドバイザーは必ず役職者証を見えるところに付けること。
- ②地域クラブとは、自治体より行政認定を受けた地域クラブを指す。加えて所属学校(学校・拠点校・地域移行クラブ)として日本卓球協会(長野県は長野県卓球連盟中体連支部)へ登録しているチームとする。
- ※但し、学校に部活動(卓球部)が設置されている生徒については、地域移行クラブからの参加は認めない。
- ※選手は、通学している学校所在地(市町村)以外の地域移行クラブからの参加は認めない。ただし、学校部活動が無くなり、学校所在地の市町村に地域移行クラブが無い場合は、原則近隣の市町村の地域移行クラブからの参加を認める。
- ③2012年(平成24年)4月2日以降に生まれた同一中学校・同一クラブ・同一拠点校の1・2年生で編成するチーム。
- ④監督、アドバイザー、選手の変更・追加は朝の受付時(開会式前)までに届け出ること。
- ⑤種目にかかわらず、複数のチームで同一監督が登録することは出来ない。
- ⑥列時に、監督及びオーダーに記載された出場選手が全員揃っていない場合は、当該チームを棄権扱いとする。

8 競技ルール

- ①現行の日本卓球協会ルールによる。
- ②ボールは、ニッタク、プラ3スタープレミアムを使用する。
- ③ゼッケンは、2026年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ④審判は相互審判とする。
- ⑤競技用のユニフォームは(公財)日本卓球協会の公認マークがついたものとし、競技用シャツは明らかに異なった色のものを2着以上用意すること。
チームはユニフォームを統一すること(短パンは揃わなくても可)

追記 ※チームのユニフォームを揃えることが困難な場合は、今年度に限り揃わなくとも良いこととする。ただし、当日朝の監督会議の前までに、審判長の許可をもらうこと。

- ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして（公財）日本卓球協会が公認した接着剤のみ使用すること。

- 9 参加料 1チーム5,000円
参加料は、大会当日チームごとに受付で納入のこと。
- 10 申込方法 別紙参加申込書に明記し、締め切り日までにメールで申し込むこと。
締め切り後の申し込みは受け付けません。

＜申込先メールアドレス＞
fusakogomi@gmail.com
申込書のエクセルファイルにて申し込みください。

※申し込みがあった場合、必ず確認の返信をします。返信のない場合はお問い合わせください。
※問い合わせや変更の連絡なども、上記宛へお願いします。

- 11 申込締切 メール送信〆切：令和8年11月28日（土）厳守にてお願いします

- 12 その他
- ・今年度より個人戦は行いません。
 - ・監督会議は8時20分より行いますので、各チーム監督はご集合下さい。
 - ・ベンチに入れるのは登録された監督・アドバイザー・選手のみとする。
 - ・開会式は必ず参加し競技上の注意などに留意すること。
 - ・今大会は、プログラムの配布は行いません。事前に長野県卓球連盟のHPに掲載されている組み合わせを各自印刷し、ご持参ください。
 - ・個人情報保護の観点から、動画等を撮影する場合は対戦相手に許可を取ってから撮影すること。
又、SNS等への掲載は禁止致します。
 - ・問い合わせ先：入嵩西携帯：090-6868-3481

【全国大会】

期日：2027年3月27日（土）～28日（日）
会場：島根県 松江市総合体育館
代表枠：男女各1チーム（優勝チーム）
参加料：1チーム 20,000円
※予選会メンバーと本選メンバーは同一であること。